

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	福祉対策措置	特別保育事業(乳児・障がい児保育)	洞 爺 湖 町	6,252,000	6,252,000	総事業費8,316,016円

II. 事業評価個表

平成29年度

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	福祉対策措置	特別保育事業(乳児・障がい児保育)	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		洞爺湖町	
交付金事業実施場所		洞爺湖町本町、洞爺湖温泉	
交付金事業の概要		乳幼児保育及び障がい児保育に従事する保育士1名と嘱託保育士2名の人件費10か月分。 洞爺湖町は、父母の多様化する就労ニーズに対応し、「生み育てやすい環境」を提供するため、電源立地地域対策交付金を活用しています。	
総事業費	8,316,016	交付金充当額	6,252,000
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	6,252,000
交付金事業の成果目標		就労形態が多様化している近年、保育所に対する様々な保育ニーズが地域住民から求められています。特に乳児保育や障がい児保育については、女性就労の増加に伴い、実施を希望する意見が多くみられる状況です。このため、当町においては、乳児(0歳児)保育や障がい児保育を実施しているところですが、厳しい財政状況の中、保育サービスを維持していくことが難しい状況となっています。本交付金を活用して、保育体制を維持し、乳児保育の実施で育児休業明けの就労の継続を支援、また出産後の求職活動を図り、障がい児保育の実施で障がいのある子どもを持つ親の就労支援を行い「生み育てやすい環境」の提供を図ることにより、地域住民の福祉の向上を図ります。	
交付金事業の成果指標		成果目標を達成するには、本交付金を活用して当町内保育所の保育士1名と嘱託保育士2名の一部人件費に充当することにより、平成28年度に引き続き平成29年度においても、乳児(0歳児)保育や障がい児保育のサービスを維持し、地域住民の福祉の向上を図ります。(乳児保育:定員8名、障がい児保育は定員2名)	
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、保育士1名と嘱託保育士2名の体制を維持でき、乳児(0歳児)保育及び障がい児保育のサービスを維持することができました。乳児保育は定員8名のところ途中入所を含め10名を受け入れることができ、育児休業明けの母親の就労継続及び出産後の求職活動の促進につなげることができました。また障がい児保育は1名を受け入れ、障がいを持つ児童の親の就労継続を図ることができ、洞爺湖町が子どもを「生み育てやすい環境」提供及び地域住民の福祉の向上を図ることができました。今後も環境維持を継続していく予定です。	
交付金事業の契約の概要			
契約の目的		契約の方法	契約の相手方
人件費		雇用	保育士1名・嘱託保育士2名
			契約金額 8,316,016
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無			
無			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		H33	